



策定したビジョンを手にする亀掛川会長（左）と小沢市長

「I・L・Cまちづくりビジョン」を策定
 市は、I・L・Cとの関わりを通じて、本市が今後目指すべき将来像と、その実現に向けた行動指針を示す「奥州市I・L・Cまちづくりビジョン」の策定を進めてきました。

27年度には、策定委員会および「まちづくり・地域生活支援」「産業振興」「福祉医療・教育」の3分科会を設置し、経済団体、大学関係者、行政、NPOなどの産学官民を交えた構成員によりビジョンの検討を重ねてきました。
 4月22日に開催した第5回策定委員会において、慎重に議論を重ね、取りまとめたビジョン案が承認。その後、策定委員会の亀掛川富夫会長から小沢市長に成案が手交されました。
 ビジョンの内容については、日本語版に加え英語版をホームページに掲載する予定です。



駅通りの街路灯を彩るフラッグ

I・L・CをPRする看板などを設置
 市は、水沢駅通り商店街の街路灯に、I・L・CをPRするフラッグを設置しました。
 また、奥州市議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟（会長 渡辺忠市議）は、

29年春の開校に向け建設工事が進む、胆沢中学校の工事現場壁面に、小山・南都田・若柳中学校の生徒と胆沢保育園の園児が描いたI・L・Cをイメージした看板4枚を設置しています。
 ことしは、いわて国体開催により、本市に全国から多くの人が訪れます。I・L・C計画を全国にPRする絶好の機会であり、周知活動に力を入れていき



5月6日の看板設置には、胆沢保育園のきいろ組17人も駆けつけた



（左から）小山中学校、若柳中学校、南都田中学校の生徒が描いた看板



希望のひかり

第35回

市が実現に向けて取り組んでいる「国際リニアコライダー（以下、I・L・C）計画」について最新情報をお届けします

I・L・Cとまちづくりの関わりを示す「I・L・Cまちづくりビジョン」を策定しました。今回は、このビジョン策定と市内でのI・L・CをPRする取り組みについてご紹介します。

また、ビジョンの内容やI・L・Cについて話を聞いてみたいという場合は、出前講座を開催しますので、お気軽にお問い合わせください。

I・L・Cシンポジウム 「I・L・C実現と地域社会の展望」
 岩手県立大学学長の鈴木厚人氏を招き、講演会およびシンポジウムを開催します。

- 日時 6月11日(日)12:30開場
- 会場 市文化会館（Zホール）
- 内容
 - 【第1部】基調講演(13:30～14:30)
 講師：鈴木厚人氏（県立大学学長）
 - 【第2部】シンポジウム(14:40～16:30)
 テーマ：「わがまちの未来絵図とI・L・C」
 コーディネーター：吉岡正和氏（岩手大学・東北大学客員教授）
 パネラー：鈴木厚人氏、小沢昌記奥州市長ほか
- 申し込み方法 申込用紙に必要事項を記入し、申込先にメールまたはファクスで提出
- 問い合わせ・申込先 本庁政策企画課 I・L・C推進室（内線415、☎2533、✉ilc@city.oshu.iwate.jp）

表彰 知的財産権制度関係労者表彰（知財功労賞）・経済産業大臣表彰

千田 伏二夫 さん ㈱千田精密工業 代表取締役

前沢区の千田伏二夫さん（70）が4月18日、知的財産権制度の発展と普及・啓発に貢献した個人や企業を表彰する、知財功労賞・経済産業大臣表彰を受けました。県発明協会の会長として、知的財産総合支援窓口の立ち上げや発明クラブの活動発展に尽力。また、知的財産権を活用した企業経営や、地域での講演などを通じて知的財産権制度の普及・啓発に努めてきたことなどが評価されました。
 千田さんは「知財戦略とは、自社のノウハウや技術・技能をしっかりと認識して、自信を持って表に出していくこと。その大切さを広げていきたい」と抱負を語りました。



表彰状を手にする千田さん



石母田俊典江刺総合支所長(左)から記念品を受け取るタツヨさん



家族とお祝いの品に囲まれ、穏やかにほほ笑むシメさん(中央)

市は、4月に満百歳を迎えた4人に記念品を贈り、長寿を祝いました。
千田タツヨさん 江刺区藤里字上小屋Ⅱは同区伊手に生まれ、18歳で故・初男さんと結婚。3男2女をもうけ、現在は孫12人、ひ孫12人、玄孫2人に恵まれています。夫と共に農業に励む傍ら、農業関係の団体活動でいろいろなおこりに旅行へ。特に皇居の掃除に行ったことが思い出深いそうです。
 親族や多くの近隣がタツヨさんのお祝いに参集。長男の萬吉さん（80）は「ストレス

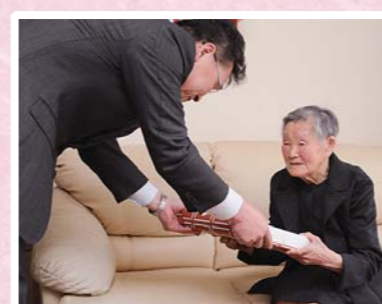
を溜めない人で、それが長寿の秘訣。そのDNAを私たちに引き継がせてくれた」と母に感謝を述べました。
佐藤シメさん 江刺区八日町二丁目Ⅱは同区岩谷堂に生まれ、23歳で故・萬治郎さんと結婚。2男1女をもうけ、現在は孫6人、ひ孫12人に恵まれています。岩手銀行江刺支店のまかない婦として23年勤務。豚骨などでだしを取ったラーメンはおいしいと評判で、退職時には行員に大変別れを惜しまれました。
 「お金をかけないでおいし

小原ヨツさん 江刺区南大通りⅡは金ヶ崎町に生まれ、21歳で故・一二さんと結婚。2男2女をもうけ、現在は孫5人、ひ孫4人に恵まれています。夫の営む小原洋服店で毎晩遅くまで働き、夫が仕事を辞めた後も和服の仕立て直しを85歳まで続けました。
 忙しい中、ヨツさんがランドセルを手作りしてくれたことが思い出深いという長男の克利さん（74）は「ギネスブックに載るくらい長生きして」

いものを作った」と当時の思い出を語るシメさん。長男の篤雄さん（73）は「よく食べ、よく眠る。百歳なのに元気で健康」とシメさんの長寿を讃えました。



お祝いに駆け付けたひ孫の幸樹ちゃん(2)に笑顔を向けるヨツさん



及川敏幸前沢総合支所長から記念品を受け取るキヨさん

とヨツさんの末永い健康を願いました。
加藤キヨさん 前沢区字簾森Ⅱは胆沢区若柳に生まれ、21歳で故・金蔵さんと結婚。2男1女をもうけ、現在は孫5人、ひ孫14人に恵まれています。結婚してすぐに夫と二人で前沢に開拓に入って野原を耕し「いつも子どもと鎌を持っていた」というキヨさん。どんな仕事もしっかりこなす勝負な頑張り屋で、80代半ばまで農業を続けました。
 現在も、身の回りのことや自分の洗濯は自分で行い、読書と散歩が日課というキヨさんは「100年生きたなんて夢のようです」とはにかんでいました。

本コーナーでは、I・L・C計画について皆さんの質問にお答えします。電子メール、ファクスでお気軽に質問ください。
 ■問い合わせ 本庁政策企画課 I・L・C推進室（内線415、☎2533、✉ilc@city.oshu.iwate.jp）